

令和8年度 第7回政策推進会議報告

日 時 7月17日 9時30分～10時00分

場 所 4-1会議室

出席者 19人

1 尼崎市旅館業に関する条例の見直し等に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

保健局長から資料に基づき報告。

(市長)

旅館業に関する条例の見直し等に向けて、非常に関係課が多いところであるが、例えばフロントの設置などハード面については、尼崎市遊技場及びラブホテルの建築等の規制に関する条例（以下「ラブパチ条例」という。）等で定められている部分もあると思うが、現時点で何か課題意識はあるか。

(都市整備局長)

ラブパチ条例については、民泊の増加が顕著になってきた5年前頃に見直した経緯がある。ただ、その際にも「市の条例としてラブパチ条例がある一方で、旅館業や宿泊事業に関する条例などもあり、複雑怪奇である」という市民や事業者からの声をいただいていた。今回、検討会議の中に都市整備局からは都市計画部も入るため、そのあたりも含めて議論させていただきたいと考えている。

(市長)

簡素化も含めて、一つの条例に一本化することも検討するのか。

(都市整備局長)

現在は規定が色々な条例に跨っており分かりにくいという部分もあるため、その点も含めて議論させていただきたいと思っている。

(市長)

これまでの感染症等による影響からの回復だけでなく、そもそも宿泊ニーズが少し高まっているように感じている。例えば「南部の方の商店街を利用したい」という声を聞いたこともあるし、実際に旅館やホテルの設置の動きもある。こうした宿泊ニーズが高まっているという状況を踏まえ、少し先を見据えて、本市だけでなく今後のまちづくりのことを考えて色々と議論していくことが必要になるのではないかと考えている。

(吹野副市長)

本件は保健局の所管であり生活衛生の観点を中心となるが、それだけでなく、指摘があったような観光やまちづくりなど色々な観点がある。今後、関係する会議を設けるとのことなので、その中で十分に議論を深めていただきたい。

2 令和7年度企業会計決算の概要等について

公営企業管理者から資料に基づき報告。

(市長)

上下水道事業について、決算は比較的順調だが今後は投資経費が増えていくとの説明があった。一方で、それに対応するための資金を積み立てていると思うが、こうした公営企業会計における資金の運用は、一般会計と同じような形で行っていると理解してよいのか。

(公営企業管理者)

全く同じというわけではないが、基本的には市長部局の一般会計の資金運用基準に合わせた形態で運用している。ただし、上下水道事業は非常に長期間の投資になるため、運用期間をどれだけ取れるのかについては、今後の事業の「資金需要」を見極めながら運用していくことになると考えている。また、今後の金利動向がどこまで上がっていくのかという点も含め、順次検討しながら運用を行っていくこととしている。

3 その他

○地域協働局長からみんなのサマーセミナー開催について説明。

○教育次長から尼崎市歴史博物館第18回企画展「工都の原点・尼崎紡績」について説明。

以 上